

みんなでつくる恩納村 あなたの声を議会へ

日々の暮らしで感じたことや「こうなったらいいな」という思いを、気軽にお寄せください。



長堂 正顕さんからのご意見

恩納村は観光立村として観光で訪れる多くのお客様をお迎えしています。私たち村民・区民にとっても、日常的に安心して暮らせるよう、バリアフリー化や夜間の街灯照明の充実、日々の安心・安全につながります。来村される皆さまにとっても、より優しく過ごしやすい環境づくりを進めてほしいと願っています。

うんな中学校に通うお子さんの父母からのご意見

先日授業参観で感じた事です、学校給食の時間が少し短いように見受けられました。授業が終わって片付け、配膳を終えるとゆっくり食べる時間があまり残らず、子どもたちが慌てて食べているようで少し心配になりました。給食は栄養を摂るだけでなく、楽しく食事する事やマナーを学ぶ場所でもあると思います。また、時間が無いので食べ残してしまう子もいると聞きました。現在の食事時間について一度見直しが必要ではないかと感じました。

全国の議会とつながる恩納村 - 交流を通じて学びと連携を深める -



北海道石狩市議会交流会



広島県坂町議会交流会



長野県南相木村議会意見交換会

10月27日には友好姉妹都市である北海道石狩市議会、翌28日には広島県坂町議会との交流会が開催され、各自治体の現状や恩納村の取り組みについて情報共有を行い、相互理解と連携を深めました。

また、11月4日には長野県南相木村議会と「議員のなり手不足」をテーマに意見交換を行い、課題解決に向けた協議を進めました。

今後も他自治体との交流を通じて、議会活動の充実と地域課題の解決に取り組んでまいります。

記事担当: 稲村 雅司

障がい者の移動支援について



当山 直彦 議員

障がい者の移動支援の現状を伺う。

福祉課長(石川 司)

次年度から利用しやすい障がい者移動支援事業として制度化するため恩納村社会福祉協議会と再開の協議調整を進めています。

移動支援の具体的な支援内容を伺う。

福祉課長(石川 司)

自立生活及び社会参加を促すことを目的とした余暇活動、買物支援、社会参加活動など広く利用ができる制度設計を考えています。



排水・し尿の処理の現状と今後の対策について

処理施設の老朽化、接続制限への対策を伺う。

村民課長(山城 達也)

長尾苑は築44年、石川終末処理場は築53年が経過しており両施設の統廃合による建て替えを実現するため沖縄県、うるま市、金武町、嘉手納町、恩納村、読谷村で協議を進めています。また金武町、うるま市と共同で石川終末処理場内のし尿等処理施設の更新工事の実施及び恩納村農業集落排水施設敷地内に、し尿等前処理施設を整備し、安定的にし尿等を処理するための対策を実施しています。

上下水道課長(金城 正道)

山田地区内において、小規模事業所及び一般住宅の接続が増え、施設の処理能力超過が懸念されることから下水道への新規接続をお断りして合併浄化槽の設置をお願いしています。今年度、処理施設の計画戸数及び処理水量等の見直しの検討を行っています。

災害時に備え村内で最低限の排水・し尿処理能力を有する分散型処理体制の整備が必要だと考えるが、当局の見解を伺う。

村民課長(山城 達也)

整備予算に莫大な費用を要することから、単独での施設整備は厳しいと考えます。災害時の対応として、うるま市、金武町・嘉手納町・読谷村の関係5市町村で立ち上げた連絡会議において、他の広域処理施設と災害協定の締結を進めるとともに、現在整備中の恩納村し尿等前処理施設を有効に活用することを優先に進めていきます。

資源循環型農業の推進とSDGs未来都市としての恩納村の取り組みについて

増える観光客のうんこ・しっこを活用した資源循環型農業に対する当局の考えを伺う。

農林水産課長(平安名 盛常)

化学肥料の使用量を抑えることによる経費削減、環境負荷の軽減等が見込まれます。さらに障がい者や高齢者の就労機会の創出が期待できる一方で、整備費や維持管理費の負担が大きいこと、下水道汚泥の利用に対する不安や懸念を払拭し、安全性や有効性を理解してもらうための周知・啓発も必要だと考えます。

OISTと連携した資源循環型農業の促進について当局の考えを伺う。

定住促進室長(大城 保洋)

OISTの技術と知見を活用することで処理水や汚泥を再利用する資源循環型農業の促進が期待されます。OIST研究ユニット及びスタートアップ企業等との協議の必要性があればOISTへ繋げていきたいと考えています。

うんこ・しっこを「厄介なもの・捨てるもの」ではなく「宝もの・生かす資源」と捉えて活用することに、対する村長の考えを伺う。

村長(長浜 善司)

環境負荷の低減や農家のコスト削減はSDGsの目標達成の成果になり得ると考えますが、化学物質や重金属が含まれる可能性があることや、費用対効果等を慎重に検討する必要があると考えています。



▲液肥を活用したパミスサンド(軽石)栽培